

社会資本総合整備計画											事後評価書			令和04年11月08日	
計画の名称	7 人と公共交通を優先する「歩くまち・京都」を目指して（京都駅西部エリアの活性化）〔都市・地域交通戦略〕														
計画の期間	令和02年度 ～ 令和02年度（1年間）											重点配分対象の該当		○	
交付対象	京都市														
計画の目標	新設駅舎整備に併せたアクセス通路の新設整備により、公共交通の利便性の向上及び交通結節点の機能強化を図り、賑わいの創出と移動に便利、暮らして快適なまちづくりを目指す。														
	目標①：新設駅舎に併せてアクセス通路もバリアフリー対応で整備することにより、すべての人が円滑に移動できる経路を確保する。														
	目標②：新設駅舎に併せてアクセス通路を整備することにより、駅周辺からのアクセスを向上させる。														
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		545	A	545	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R2当初)	－	(R2末)
1	西大路駅の北側駅舎利用者数の増加			
	西大路駅の北側駅舎利用者数	0人／日	人／日	6000人／日
2	北側駅舎へのアクセス性向上			
	西大路駅北西エリアから駅舎への平均移動時間	3分	分	2分

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
市街地整備事業	A13-001	都市交通	一般	京都市	直接	京都市	—	—	J R西大路駅北側アクセ ス通路整備事業	アクセス通路整備	京都市	■					545	1.6	—	
											小計						545			
											合計						545			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

京都市で評価を実施

事後評価の実施時期

令和2年度末（令和3年度への繰り越し事業含む）

公表の方法

京都市ホームページにより公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

アクセス通路の整備で駅へのアクセス時間が短縮されたこと等により、駅の利便性が向上した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

バリアフリーに対応した整備を行い、すべての人が円滑に移動できるアクセス通路を提供した。

○特記事項（今後の方針等）

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	北側駅舎の利用者の増加		
	最 終 目標値	6000人／日	新型コロナウイルスの影響により鉄道利用者が減少したため。
	最 終 実績値	4567人／日	
2	北側駅舎へのアクセス性向上		
	最 終 目標値	2分	計画的に事業を実施し、目標を達成した。
	最 終 実績値	2分	